

寒さが和らぎ、春の訪れを感じるようになりました。心も体も大きく成長した子どもたち。まもなく卒園、進級を迎えます。給食の時間をみんなで楽しみながら、残りひと月を元気に過ごしましょう。

ひな祭りの行事食

3月3日は「ひな祭り」。別名「桃の節句」「上巳(じょうし)の節句」と呼ばれる女の子の節句で、ひな人形を飾って子どもの健やかな成長と幸せを願う行事です。ひな祭りの行事食として「ちらし寿司」「はまぐりの潮汁」「菱餅」「ひなあられ」があり、それぞれに意味があります。



ちらし寿司

先の見通しがよくなるれんこん、腰が曲がるほどの長寿を象徴するえび、黄身と白身で金銀の財宝を表す錦糸卵など、縁起のよい食材が彩りよく使われています。



はまぐりの潮汁

はまぐりは二枚貝で対の貝殻しか組み合わないことから、将来良縁に恵まれ、夫婦円満に暮らせるようにとの願いが込められています。



菱餅・ひなあられ

桃色、白色、緑色のパステルカラーで春の訪れを表しています。桃色は「魔除け」、白は「清浄」、緑は「健康」の願いが込められています。

「いただきます」「ごちそうさま」

「いただきます」という言葉は、料理を作ってくれた人、食材を販売している人、流通にかかわる人、生産者への感謝と、食材そのものの命をいただくことへの感謝の気持ちを表す言葉です。「ごちそうさま」という言葉に含まれる「馳走(ちそう)」という言葉には、馬を駆って走らせるという意味があります。食事を用意するために走り回り、もてなしたことに対するお礼の言葉が「ごちそうさま」なのです。たくさんの人がかわり、食卓に食事が並んでいるということに感謝の気持ちを表すために「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつを欠かさないようにしましょう。

